

議会だより



白山市

第18号

2009

平成21年11月



「白山遠望」

●写真提供：古河尚訓さん（白山市松任美術協会会員）
撮影地：白山市鳥越地区

【目次】

平成21年9月定例会概要	2	行政視察報告	14
一般質問	3	市民の声・編集後記	16
常任委員会レポート	12		

9月定例会概要

平成21年第3回市議会定例会
9月3日(木)～17日(木)

平成21年9月定例会は9月3日に開会され、市長から提案された補正予算案8件、条例案7件についてすべて可決しました。

事件処分案8件のうち、「白山白峰温泉スキー場の指定管理者の指定について」は採決の結果、賛成少数で否決となりました。

その他、議員提出の議会議案2件を可決したほか、人事案1件を承認し、決算認定15件については次回の定例会までの継続審査となりました。

一般会計総額20億7135万円
特別会計・事業会計3億426万円の補正可決

一般会計補正予算案

主な事業として、総務費では北陸新幹線建設事業費や先駆的里山保全支援事業費、民生費では子育て応援特別手当給付事業費や病児保育室建設事業費、衛生費では新型インフルエンザ対策事業費やがん検診事業費、労働費では緊急雇用創出事業費、農林水産業費ではたくましい担い手経営育成事業費や林道整備事業費、商工費では商店街活性化推進事業費、土木費では緑の基本計画策定事業費がそれぞれ提案されました。また、教育費では小中学校、幼稚園にデジタル対応テレビ、小中学校に電子黒板、校務用コンピューターを配置する事業費、災害復旧費では豪雨により被災した林道や一里野温泉源泉施設の復旧事業費が提案されました。そして、議会最終日に採決が行なわれ、すべてが可決されたことで、今議会での補正予算を加え、一般会計予算総額は494億5868万円となりました。

条例案

7件

「白山市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例」は新幹線整備に伴い、松任駅南口第一自転車駐車場を廃止。施設の老朽化のため、井口駅第二駐輪場を廃止。

「白山市体育施設及び有料公園施設条例の一部を改正する条例」は松任総合運動公園グラウンドの照明使用料について、夜間の利用実態を考慮し、半面使用時の料金を新たに規定。

ほかに、「白山市国民健康保険条例の一部を改正する条例」「白山市洋蘭センター条例を廃止する条例」など、7件すべてを可決。

事件処分案

8件

「白山白峰温泉スキー場の指定管理者の指定」案は賛成少数で否決



白峰温泉スキー場で開催されているスキー大会

事件処分案8件のうち、「白山白峰温泉スキー場の指定管理者の指定について」は、指定管理者を「特定非営利活動法人白峰スノースポーツ」に指定するものですが、所管の生活経済常任委員会では全会一致で否決となりました。17日の本会議において、委員長は「昨年12月に当該施設は県内唯一のアルペン大回転の公認コースを有することから、他のスポーツ競技と同様、石川県が主体とな

り、スポーツ施設として運営すべきとの決議がなされた。今議会での説明によれば、県の財政支援は、昨年の実績を上回るものの不十分であり、当該委員会では、今後のスキー場運営は断念せざるを得ないと判断した。しかし、議案の否決を受けて市は県に対し、このスキー場の重要性を十分に認識し、さらなる県の主体的な支援を求めるべきと考える。」との報告を行いました。これに対し採決を行った結果、8名の賛成少数により否決となりました。

その他の議案

「町の名称の変更」では成町の一部を新成一丁目等に、竹松、宮水、一塚、倉部町の一部を旭丘四丁目に変更する。「財産の取得」ではロータリー除雪車の購入など、7件を可決。

報告案件

5件

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めにより、「平成20年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業決算に基づく資金不足比率の報告について」は資金不足比率が発生した観光事業特別会計において、21年度末までに個別外部監査を行った後、経営健全化計画を議会の議決を得て策定するものです。その他、財団法人未智之里など4件の経営状況の報告を受けました。

議会議案

2件

・大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書
・経済的に就学が困難な高校生の授業料無償化を含めた支援を求める意見書、以上を可決。

人事案

1件

人権擁護委員候補者の承認について
北川 恭子（倉光七丁目）

一般質問

そこがききたい 市政を問う

9日の質問議員

- 永井 徹史 議員 4ページ
白山登山客の利便性向上と生態系の保全を
- 古河 尚訓 議員 4ページ
廃止予定区間について法定協議会を設置すべきだ
- 寺越 和洋 議員 5ページ
「舟岡山遺跡と舟岡城跡」を国・県指定史跡に申請せよ
- 小川 義昭 議員 5ページ
JR松任駅周辺文化ゾーンの連携・活性化を図れ
- 藤田 政樹 議員 6ページ
公民館のあり方検討委員会を設けてはどうか
- 宮岸 美苗 議員 6ページ
石川線・廃止区間対象の法定協議会の設置を
- 竹田 伸弘 議員 7ページ
保育所の民営化方針の計画は
- 北嶋 章光 議員 7ページ
市民が使いやすい野球場建設を

10日の質問議員

- 清水 芳文 議員 8ページ
車両基地内の新駅、在来線の新駅の設置構想を示せ
- 小島 文治 議員 8ページ
新型インフルエンザ対策行動計画案を示せ
- 西川 寿夫 議員 9ページ
小学校低学年から英語教育を
- 宮中 郁恵 議員 9ページ
細菌性髄膜炎予防の「ヒブワクチン」接種公費助成を
- 中西 恵造 議員 10ページ
木質バイオマス資源の活用を求める
- 岡田 俊吾 議員 10ページ
石川線の区間廃止の対応は
- 村本 一則 議員 11ページ
し尿処理施設の一元化を早急に検討せよ
- 大口 英夫 議員 11ページ
白峰温泉スキー場、県体育協会に怒りをあらわにせよ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

みなさまの傍聴をお待ちしています

※本会議の傍聴は、当日、市役所7階で受け付けています。一般質問など本会議の詳細内容は、白山市ホームページでご覧になることができます。



永井 徹史 議員

Q 白山登山客の利便性向上と生態系の保全を

A 交通規制緩和など 国・県に強く働きかける

質問 白山は「活用すべき資源」であると考える。

域に根差した施策になるよう努める。

登山環境整備・生態系保全

質問 白山公園線の交通規制により、別当合駐車場での下車が不評である。別当合登山センターまでの乗り入れを認める措置が必要である。

が懸念される。生態系保全のため、侵入防止のクリーニングゾーンの設定が必要である。

市長 提案内容は登山者の利便向上のため大変良いことであり、登山者増加につながる。国・県等へ強く要望していきたい。

本市には、全国的に通用する観光地が育っていない。北陸新幹線の開業に合わせ、白山の登山者数を拡大させるよう対策をとることが、市政発展のためにも大切である。

市長 有識者の白山登山の感想論文を読み感動した。白山の感想を述べてもらえることは、白山の大切さすばらしさを全国的に発信できることにつながる。

外来植物の白山高山帯への侵入により在来種の消滅

生態系保全の対策には苦慮している。必要な対策をとるよう国・県等へ強く働きかける。

自然公園専門課の創設

質問 白山国立公園の有効活用のためには、多岐広範にわたる対応を要する。一里野自然公園の活用も大切であり、自然公園の専門セクションの創設が必要である。

総務部長 今後の検討課題とした。

活用すべき資源として、地域の象徴である白山をとらえ、地



白山山頂と白山室堂ビジターセンター



古河 尚訓 議員

Q 廃止予定区間について 法定協議会を設置すべきだ

A 全営業区間を対象として 設置すべきと考えている

石川線一部廃止への対応

質問 全線にわたる法定協議会は実現に至っていない。市民の声を受け、白山市が主体的に廃止届区間についての法定協議会を設置すべきではないか。また、白山ろくの活性化や観光施策、地球温暖化対策から「鉄道を活かした街づくり」の意義をどう考えるか。

市長 鶴来・加賀一の宮間については経営的に大変厳しい。この赤字については石川線全線の利便向上による活性化策や運行体制の見直しの検討が必要。2駅区間限定の法定協議会では、こうした問題の解決が困難と考える。また、「街づくり」の例としては交通結節点として整備された鶴来駅と駅前広場がある。石川線を白山ろくの活性化や観光振興



一部廃止届が出されている石川線と加賀一の宮駅

先順位が決められたワクチン接種を進めるには公費助成を検討すべきではないか。

教育部長 ①各学校での欠席状況を把握し、クラスの10から15%になった場合に土日を含む

そう願う一人だが、これについてはもう少し慎重に審議する機関を設けることを考えている。

魚副市長 ②市内各医療機関へは県及び県の医師会を通じて、感染防止や受診体制への指示が出されている。

新型インフルエンザ対策

質問 ①学校での集団感染が心配される。学級閉鎖には統一の対応が必要ではないか。②「季節性」と同様、民間医療機関での受診・入院体制となっているが、市内では統一体制整備が遅れているのではないか。③優

たい。



寺越 和洋 議員

Q 「舟岡山遺跡と舟岡城跡」を国・県指定史跡に申請せよ

A 都市計画マスタープランの中で史跡公園として予定

【質問】 市指定史跡「舟岡山遺跡と舟岡城跡」は縄文時代、室町時代、戦国時代等の歴史的に重要で、近くには、白山青年の家・昆虫館・獅子吼高原等、舟岡山の範囲は、教育環境や観光資源として歴史と自然を満喫できる一帯で、市の重要な地域資産の一つだ。

重要で国指定史跡となる価値があるので、都市計画マスタープランで史跡公園として予定している。

私も、舟岡城の周辺や史跡の一帯を観光拠点とらえ開発することには同感であるが、事業化には、現在施工中の4つの遺跡整備・調査事業の進捗により、事業化の検討をしていく。

また、早急に史跡跡地の検査委員会を設け、国・県に価値を強く要望し、実現に向けて努力していきたい。

舟岡山の貴重な史跡を保存整備し、後世へ伝えていくことは、郷土色の豊かさを再発見できるので、国の指定史跡に向けて、ぜひ働きかけるべきだ。

市長 舟岡城跡は、非常に重要で国指定史跡となる価値があるので、都市計画マスタープランで史跡公園として予算額、住民説明会の予定を問う。

土砂災害ハザードマップの作成を求める

【質問】 土砂災害ハザードマップの活用は、災害発生時の迅速・的確な避難等、非常に有効なので一日も早い発行を求める。

また、土砂災害警戒区域等、市ホームページでも閲覧できるようにする。



小川 義昭 議員

Q J R松任駅周辺文化ゾーンの連携・活性化を図れ

A 協議会を設置し賑わい創出に努める

文化創生都市宣言

【質問】 宣言後の実績及び今後の展開方針を問う。

文化は、まちづくりの大きな原動力であり、本市の文化力を生かした新たな魅力と輝きを生み出すまちづくりにも今後取り組みを促すプランづくりを求める。

文化と産業

【質問】 市政5周年記念事業として、今年10月、第12回全国獅子舞フェスティバルが開催される。市内獅子舞団体を中心に、行政、産業団体などが一体となり企画運営を行い、周辺には物産市が開かれる。地域活性化には、このように文化と産業が共存するまちづくりが大切である。見解を問う。

長い歴史の中で培われた地域文化と多様な地域資源を生かし、文化協会や商工団体などを取り込み、

文化政策と都市計画MP

【質問】 史跡・伝統文化の保存、継承活動やその組織を直し、自助努力の継続を促すプランづくりを求める。

史跡や貴重な民俗芸能など伝統文化の保存、継承、活用の環境整備推進策をプランに織り込み、芸術文化に親しむ施策を推進し文化力向上に努める。

【質問】 駅周辺には中川一政記念美術館など10の公共施設が連なっている。これらの施設集積メリットを生かした、連携・一体的な交流・管理体制が必要である。また、民間の文化財、商店街、商工団体などを取り込み、

松任駅周辺文化ゾーン

【質問】 駅周辺には中川一政記念美術館など10の公共施設が連なっている。これらの施設集積メリットを生かした、連携・一体的な交流・管理体制が必要である。また、民間の文化財、商店街、商工団体などを取り込み、

【教育部長】 提案の条例制定は大変有意義である。前向きに検討し、一層の文化振興を図りたい。

教育部長

提案の条例制定は大変有意義である。前向きに検討し、一層の文化振興を図りたい。



舟岡山の全景



うるわし前で開催された全国獅子舞フェスティバル



藤田 政樹 議員

Q 公民館のあり方検討委員会を設けてはどうか

A 今の公民館に活力を見いだす指導をし、再編は考えない

質問 大きな市域を持つ本市の市民に、共通した精神的よりどころを定め、よりよいまちづくりのために白山市民の歌を制定してはどうか。

市長 市民の融和に積極的

に組み組んできた本市にとって、極めて意義があるものと考えており、今後、本市にふさわしい市民の歌の制定に向け、制定委員会を設けて積極的に検討していく。

質問 平成14年に小学校1年生における30人学級が認められ、合併と同時に2年生を追加し現在に至っているが、財源は100%一般財源で賄われ、今年度において、市単独講師16名分の人件費は約4500万円措置されている。県内のほとんどの学校が35人学級を

採用している現在、1年生は30人以下学級として、2年生は県負担の35人学級とすることで、本年度において考えれば3000万円余り税金の節約となる。市長の提案理由の説明の中で、積極的に徹底した行財政コスト見直しなど、財政の健全性の堅持に努めると言われたように、2年生は県が実施している35人学級を採用し、市税の節約としてはどうか。

市長 地域を活性化させる

には、地域住民がまちづくりに参加することが重要と考える。現在社会教育、福祉等の事業に地域公民館はその中核として大きな役割を果たしている。今はまだある公民館に大きな活力を見いだすように指導していきたい。

質問 公民館のあり方について

市長 7月に沿線市町に法定協議会設置を申し入れたが、金沢市が慎重姿勢だ。地元には状況を説明して一定の理解を得ている。廃止区間の法定協議会の設置は困難だ。

質問 廃止区間の維持経費5億円について、市の調査を再度求める。

市長 社会的責任がある事業者が出した数値なので、市の調査は考えていない。

質問 利用しやすい鉄道にしてこそ「存続」の結果も

市長 得られる。法定協議会はその議論する場であり、廃止区間対象の法定協議会の設置が必要だ。

市長 地元の声を聞く機会をつくりたい。法定協議会ではなく、廃止区間について取り組む協議会を9月に設置したい。

農村美術館 山ろくの振興策は必要だが議論は不十分で、美術館がよいとの結論はまだ早い。活性化策そのものの議論をもっとすべきだ。

市長 2年間にわたり検討委員会を協議し、その報告を受けたところだ。吉野工芸の里は、国内外の作家が創作活動をしている全国でも数少ない所だ。建築専門家のアドバイスのもと、施設運営や誘客方法を検討して建設を進めたい。

健康福祉部長 現在の整備状況は、子育て支援センター、障害者福祉サービス事業所ほほえみが開設されており、総合福祉センターは未整備だ。整備時期については、中期財政計画の中で十分議論し、財政実情を

「福祉の郷」整備 「福祉の郷」施設整備を再開せよ。

健康福祉部長 現在の整備状況は、子育て支援センター、障害者福祉サービス事業所ほほえみが開設されており、総合福祉センターは未整備だ。整備時期については、中期財政計画の中で十分議論し、財政実情を

市長 7月に沿線市町に法定協議会設置を申し入れたが、金沢市が慎重姿勢だ。地元には状況を説明して一定の理解を得ている。廃止区間の法定協議会の設置は困難だ。

質問 廃止区間の維持経費5億円について、市の調査を再度求める。

市長 社会的責任がある事業者が出した数値なので、市の調査は考えていない。

質問 利用しやすい鉄道にしてこそ「存続」の結果も

市長 得られる。法定協議会はその議論する場であり、廃止区間対象の法定協議会の設置が必要だ。

市長 地元の声を聞く機会をつくりたい。法定協議会ではなく、廃止区間について取り組む協議会を9月に設置したい。

農村美術館 山ろくの振興策は必要だが議論は不十分で、美術館がよいとの結論はまだ早い。活性化策そのものの議論をもっとすべきだ。

市長 2年間にわたり検討委員会を協議し、その報告を受けたところだ。吉野工芸の里は、国内外の作家が創作活動をしている全国でも数少ない所だ。建築専門家のアドバイスのもと、施設運営や誘客方法を検討して建設を進めたい。

健康福祉部長 現在の整備状況は、子育て支援センター、障害者福祉サービス事業所ほほえみが開設されており、総合福祉センターは未整備だ。整備時期については、中期財政計画の中で十分議論し、財政実情を



宮岸 美苗 議員

Q 石川線・廃止区間対象の法定協議会の設置を

A 法定協議会ではなく地元の声聞く機会をつくる



竹田 伸弘 議員

Q 保育所の民営化方針の計画は

A 平成30年度を目標に10カ所程度とする

質問 保育所の民営化の提案がされた。保育所・幼稚園を耐震強化のため新築し、安全な施設へと早期に整備すべきと考えるが、なぜ今、公設民営化なのか。民営化のメリット・デメリットは。

質問 委託先の決定はどのような基準で選定するのか。

質問 委託先の決定はどのような新政権の動向を注視して取り組んでいく。

健康福祉部長 原則公募で市内の社会福祉法人等とし、十分審査し決定する。

健康福祉部長 企業が誘致も大切だが、撤退しないように申し入れを行ってはどうか。能登地方の自治体では申し入れられている。

質問 民営化を見据えてか、保育所に臨時職員が異常に多い。正規職員137人に非常勤職員が332人いた場合、企業側に撤退、閉鎖等の回避を申し入れる。

健康福祉部長 メリットは民間発想の保育や通園バスが期待できる。財政面でも補助金が交付され、市の負担が少なくなる。デメリットは効率重視で保育の質が低下するのではとの不安がある。

健康福祉部長 職員削減や「公立保育所あり方検討委員会」の報告に基づき、来年は正規職員を4名程度採用する。

健康福祉部長 行革大綱の職員削減や「公立保育所あり方検討委員会」の報告に基づき、来年は正規職員を4名程度採用する。

健康福祉部長 平成30年度を目標に松任地域で6カ所程度、美川地域で1カ所程度、鶴来地域で2カ所程度、山ろく地域で1カ所程度としている。

質問 政権交代による影響はないのか。

市長 支障がないのか。

市長 支障がないのか。

市長 支障がないのか。

市長 支障がないのか。



移転改築が予定されているあかね保育所



北嶋 章光 議員

Q 市民が使いやすい野球場建設を

A 積極的に検討していきたい

質問 松任地区にある相木野球場が、都市計画の中で道路の計画の中にあり、ここ数年のうちに区画整理に入ると聞いている。財政も大変厳しい中で考えると、北安田町の球場の改築が適当ではないか。

質問 設置し、ワーキンググループを立ち上げ検討している。新設か既存施設の活用か、施設の規模、経費と財源に関して幅広く検討し、今年度中に作業を終える予定である。その後、野球関係者など市民による検討委員会を設け、具体的に検討していただきたいと考えている。

市長 相木野球場が区画整理事業に含まれており、将来的な廃止が見込まれている。そのため、代替野球場に合せて硬式野球が可能な球場が必要と考えており、財政、立地などの観点を中心に、その方向性について積極的に検討していきたい。

市長 我々市民が使いやすい野球場の建設をお願いしたい。また、内部での検討委員会の設置はどのようになったか。

市長 内部に検討委員会を



野球場として市民に利用されている出城多目的広場



清水 芳文 議員

**Q 車両基地内の新駅
在来線の新駅の設置構想を示せ**

**A 博多南駅を想定
両側ホームでバリアフリー対応**

環境施策について
質問 ①環境教育の一環として取り組んだ緑のカーテン運動の結果、成果を三ッせ。また、取り組んだ市内の小学校での報告会や意見交換会の開催を提案する。②緑のカーテン全国協議会の入会と、白山市での全国フォーラムの開催を提案する。③ライトダウン運動をいつでも開催する、毎月定期的に取り組む等を提案する。

北陸新幹線・白山総合車両基地の建設に関連して
質問 ①工事用車両の運行による周辺道路への影響が懸念される。②周辺道路・周辺水路の整備計画を示せ。③車両基地内の新駅と在来線の新駅の設置構想をいつでも開催する、毎月定期的に取り組む等を提案する。

市長 ①工事用車両は、原則、国道・県道・幅員のある市道を利用、通行時間は、ラッシュ時や通学時間を避け、午前9時から午後5時までとする。②地下道化される県道・市道を整備する。③県スキー連盟や関係団体と連携を図りながら、安定的な運営の実現に向け取り組むたい。

観光推進部長 ①所管移行・名称変更を検討する。②地元NPOに3年の指定管理期間で運営を考えている。③県スキー連盟や関係団体と連携を図りながら、安定的な運営の実現に向け取り組むたい。

市民生活部長 ②全国協議会の加入や全国フォーラムの白山市での開催は考えていない。③今後、地球環境保全週間の一環の行事として取り組むたい。

白山白峰温泉スキー場について
質問 ①観光推進部から教育委員会への移管と、「白峰アルペン競技場」への名称変更を提案する。②平成20年12月議会での議会決議があるが、NPOによる運営継続をせめてもう1年できないか。③決議内容の実現に向けた各種団体との連携を図れ。

市長 国・県等と連携した行動計画を策定し、本格的な流行に備える。また、学校・福祉関係施設等の職員を対象に研修会を開催し、感染防止対策の徹底を指示し、施設での集団発生に対する対策を講じる。今後とも、感染拡大への警戒を怠ることなく柔軟かつ機敏に対応していく。

教育長 学校・保育所等から感染が拡大しないように努めるとともに石川中央保健福祉センターと連携を取りながら、必要な対策を講じていく。

健康福祉部長 市民への情報提供については、県において発生状況を集約し、個人が特定される情報を除いて公表している。また、駐車場入口の表示を



小島 文治 議員

**Q 新型インフルエンザ
対策行動計画案を示せ**

**A 発病の対応や看護方法をまとめ
市内全世帯に配布する**

白山市のインフルエンザ対策について問う
市長 国・県等と連携した行動計画を策定し、本格的な流行に備える。また、学校・福祉関係施設等の職員を対象に研修会を開催し、感染防止対策の徹底を指示し、施設での集団発生に対する対策を講じる。今後とも、感染拡大への警戒を怠ることなく柔軟かつ機敏に対応していく。

教育長 学校・保育所等から感染が拡大しないように努めるとともに石川中央保健福祉センターと連携を取りながら、必要な対策を講じていく。

健康福祉部長 市民への情報提供については、県において発生状況を集約し、個人が特定される情報を除いて公表している。また、駐車場入口の表示を

松任駅立体駐車場及び駅前周辺広場の活性化について
質問 複合型立体駐車場において料金体系を見直して、市民の利用を促すため、商工会議所や青年会議所など各種団体に働きかけ、協議会を設置し企画運営を検討していく。

北田副市長 利便性について、駐車場の表示を

北田副市長 今後にもぎわいを出出する様々なイベント会場として、市民の利用を促すため、商工会議所や青年会議所など各種団体に働きかけ、協議会を設置し企画運営を検討していく。

北田副市長 利便性について、駐車場の表示を

北田副市長 利便性について、駐車場の表示を

北田副市長 利便性について、駐車場の表示を



西川 寿夫 議員

Q 小学校低学年から英語教育を

A 5、6年生の英語教育を充実

質問 白山市の小学校では、他の自治体に先駆けて図書館司書の配置や少人数学級の実施などを行い、すばらしい行政が行われているのに、低学年からの英語教育がなげ行われないのか。隣接する自治体の小学校では、英語教育を3年生から取り組んでいるのに、白山市では5年生から取り組んでいる。この2年間の違いは大きいのではないか。文部科学省の教育課程特例校の制度を活用して取り組みをしているかどうか。

千代女の里俳句館について 市議会 千代女を全国にPR

質問 詩吟愛好者でつくつて、外国人の里俳句館の庭で千代女の俳句を吟う大会が、外国人の里俳句館の庭で千代女の俳句を発表する機会を設けるよう館長にも指示、指導したい。

教育部長 実施に当たり、外国語指導助手等の質的・量的な確保、あるいは、新たな年間指導計画の作成、それから教育の指導力の向上、こういった多くの課題があり、国の認可が難しい。小学校5、6年生における



千代女の里俳句館



宮中 郁恵 議員

Q 細菌性髄膜炎予防の「ヒブワクチン」接種公費助成を

A 国の検討結果を踏まえ、前向きに検討する

質問 乳幼児に重い細菌性髄膜炎とは、細菌が脳に感染する重症の感染症で、かつては髄膜炎とも言われていた病気である。国内で毎年1000人が発症する細菌性髄膜炎のうち、600人以上はヒブが原因。最悪のケースでは死に至ることもあり、4人に1人は知的障害や運動障害など重い後遺症に苦しんでいる。細菌性髄膜炎は、ヒブワクチンによって確実に予防することができ、アジア・アフリカを含む110カ国以上で使用され、90カ国以上で定期接種が行われている。国内では、任意接種1回当たりの費用は7000〜8000円程かかり、必要な4回分の費用約3万円は全額自己負担と高額である。全国的に公費助成の取り組み

健康福祉部長 厚労省の予防接種に関する検討会で、定期予防接種に加える場合の基準を検討している。国の結果を待ち助成を考えた

が広がっているが、実施の考えは。厚労省の予防接種に関する検討会で、定期予防接種に加える場合の基準を検討している。国の結果を待ち助成を考えた。市にはDV専用相談窓口や専用ダイヤルがないため、現状を把握することはできないが、この中に白山市の相談件数も多く含まれていると推察される。平成20年のDV防止法の改正に伴い、市町村に「配偶者暴力相談支援センター」設置の努力義務が課せられた。DVは犯罪であり、防止するために、市は「DV相談支援センター」を設置し、現状の体制を強化せよ。

注 ヒブワクチンとは、インフルエンザ菌b型(Hib)による乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するワクチン。

DV被害者の支援相談窓口を充実せよ

質問 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や内縁関係にある家族から受ける家庭内暴力で、年々増加傾向にある。多くの場合、被害者は女性であり、加害者は男性である。県の取りまとめた平成20年度の相談件数は、昨年度より348件多

女性専用の相談ダイヤルを新設、専門の相談員を配置する

市長 女性の皆さんが相談しやすい体制を整備する。



中西 恵造 議員

Q 木質バイオマス資源の活用を求める

A 資源の活用調査を実施する

質問 政府は2020年ま

型環境都
市・白山
市の一大
産業に発
展させる
ことを望
む。

森が荒れると海も荒れる
と言われ、白山市にとって
森林の再生管理は大切だ。

地球温暖化抑制対策とし
て、自然エネルギーと比較
しても、木質燃料は森林保
全の上からも白山市のまち
づくりには、より効果的と
思う。

いろいろな助成策と施設
の低価格化を実現し、循環



荒れ放題の森林の活用を

いろいろな助成策と施設
の低価格化を実現し、循環
教育効果の期待できない。
無駄と思われる物に税金を
使うことは良くないと思
う。
地方分権・主権がより推
進されていく中、自己責任
自己裁量とともに、税金投
入の費用対効果の精査が強
く支援要望していく。



導入を予定している電子黒板

市長 バイオマス燃料の生産・
流通面でのコスト削減が普
及の鍵になる。市独自の調
査と合わせ、国・県に助成
制度を強く求めていく。

教育部長 必要なものと考
えられている。

電子黒板は必要か これまでの議会が決
議してきたとおり、スキ
ー場の主体的運営を県に強
く求めてきた。今回の事件処
理の取り下げと同予算執
行の留保を求めるが、特段
の考え、方向性があれば示
す。

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

**県にスキー場支援を強
く求めよ**

質問 国が購入費を出して

議してきたとおり、スキ
ー場の主体的運営を県に強
く求めてきた。今回の事件処
理の取り下げと同予算執
行の留保を求めるが、特段
の考え、方向性があれば示
す。

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に

観光推進部長 今後とも、
引き続き、県・県体協等に



岡田 俊吾 議員

Q 石川線の区間廃止の対応は

A 早急に地元と話し合う場を設ける

質問 北陸鉄道石川線の鶴

来〜加賀一の宮間の区間廃
止が11月1日に迫ってきて
いるが市の対応を示せ。

市長 鶴来地域の文化の源
でもあり、地域の足として
長年親しまれてきた。鶴来
〜野町駅間の経営状況が厳
しい中、幾度も法定協議会
設置に向けた事務的な話し
合いを行ったが、金沢市の
副市長が来庁し、法定協議
会の設置には対応できない
旨、回答された。

市としては、早急に地元
の代表と話し合う場を設け
て、再度、説明と協議を行
いたいと考えている。
また、廃線が避けられな
い状況になったとき、代替
交通機関は市として、北陸
鉄道と十分協議した上、北
陸鉄道に路線バスなどを対
応していただくが、補完機
能としてコミュニティバス
の運行を視野に、現在の鉄
道利用者が不便を来さない
措置を講じたい。

市民生活部長 竹松墓地公
苑に約1140区画の未貸
与区画の墓地があり、当面
はそちらの墓地で対応して
いきたい。

質問 公立保育園で、民営
移管する保育園は決まっ
ているのか。

健康福祉部長 保護者や地
域住民の十分な理解を得な
がら順次進めていきたい。
民営化に当たっては、耐震
改修が必要で早期に改築を
余儀なくされる施設及び法
人の運営に適正である保育
所などを考えている。

健康福祉部長 保護者や地
域住民の十分な理解を得な
がら順次進めていきたい。
民営化に当たっては、耐震
改修が必要で早期に改築を
余儀なくされる施設及び法
人の運営に適正である保育
所などを考えている。

健康福祉部長 保護者や地
域住民の十分な理解を得な
がら順次進めていきたい。
民営化に当たっては、耐震
改修が必要で早期に改築を
余儀なくされる施設及び法
人の運営に適正である保育
所などを考えている。

健康福祉部長 保護者や地
域住民の十分な理解を得な
がら順次進めていきたい。
民営化に当たっては、耐震
改修が必要で早期に改築を
余儀なくされる施設及び法
人の運営に適正である保育
所などを考えている。

加賀一の宮駅から
電車に乗ろう

たいせつな電車です
みんなで乗って守りましょう

北陸鉄道石川線
文文守り会

地元の思いを込めて法定協議会の設置を！



村本 一則 議員

Q し尿処理施設の一元化を
早急に検討せよ

A 経費の削減につながるから
真剣に考えていく

**老朽化している施設で
あり早急な対策が必要**

質問 一般廃棄物の処理は、日常生活に最も密着した行政サービスだ。現在、白山市は2カ所のし尿処理施設にて処理を行っている。手取川流域環境衛生事業組合には負担金として3700万円程度負担している。1カ所に集約して処理することにより経費の節減につながると思うが、今後の処理手法についてどう考えているのか。また、処理施設を新築するとしたならば多額の費用が必要と思うが、合併特例債を充当することが有利と考える。市長の見解はどうか。

白山市も川北町の施設も老朽化している

市長 白山市の松任衛生センターも川北町の手取川流



老朽化している松任衛生センター

埋め立て場の期限が切れた場合の対応は

質問 一般廃棄物のごみ処理は、焼却した灰を坂尻町

域環境衛生事業組合の施設も老朽化している。構成団体や川北町長とも話し合いの上、一元化に前向きに検討していきたい。白山市・能美市も合併特例債が活用できることから、そのことも含め川北町長と詰めていきたい。

地元への期間延長のお願いと外部委託にて検討

北田副市長 白山石川広域

事務組合では、現在鶴来清掃センター処分場の埋め立て率が57%という状況から、地元町内会に利用期間の延長についてお願いをしている。新たな処理整備については、本年度より、試験的に実施している県外での処理を含め、検討していく。



大口 英夫 議員

Q 白峰温泉スキー場、県体育協会に
怒りをあらわにせよ

A 石川県と県体育協会に
さらなる支援を求めていく

質問 県内唯一の大回転の公認コースがある白峰温泉スキー場がなくなると、一番困るのは県体育協会長の谷本正憲知事である。そして、加盟競技協会の競技施設を確保する責務がある。今日まで市体育協会が2度要請しているが応えてはいない。県体育協会に怒りをあらわにせよ。

魚副市長 県と県体育協会

公認コースのあるこのスキー場は、全国大会出場の手にとってはポイント確保によりスタート時の順番に影響するという観点から大変大切な施設である。県と県教育委員会にもっと応援してほしいと話している。県は重要性について十分認識しており、万が一、休止や廃止となれば県と県体育協会にとっては大変であると危惧してい

質問 議会が否決すれば今年度の運営はできない。県内において公認コースの確保を真剣に考えなければいけないのは誰なのか。今日

る。県は、県営とすることまでに関係者が県体育協会は困難であり、財政支援をある程度の継続を前提にできる程度に配慮したいとしていた。私も昨年12月の市議会の県が主体となったの運営を求める「白山白峰温泉スキー場及び西山クロスカントリー競技場の運営に關する決議」は大変重いと認



県内唯一の大回転の公認コースをなくしてはならない!

市財産の売却など有効な財源確保 税の滞納抑止対策を

総務企画常任委員会

9月11日、補正予算案2件、事件処分案3件を審議し、全議案を全会一致で可決しました。

9月17日、追加事件処分案「個別外部監査契約について」1件を全会一致で可決しました。

地方債について

質問 地方債が昨年度より増えているが、今後の推移はどうか。

答え 国の補正予算に係る分での影響はそんなにないと考ええる。全体としては合併特例債を使っても、建設事業に係る部分の30%は一般財源が必要だ。今年度の建設事業に係る地方債が約50億円であり、交付税の不足分である臨時財政対策債18億7000万円を足すと約69億円の起債となる。

今後、学校の建設事業が入ってくると、他の事業はある程度抑えていく必要があると考える。

政権交代による国補助の影響について

質問 9月補正の中で影響する事業があるのか。

答え 追加の事業等は保留の通知が来ている。農林の土地改良区が幾つか事業をしていて、本市の負担分だけ計上している事業がある。本市の場合、林道関係が遅れて冬場になると、この分は繰り越

しになる。地方への負担分については、原則執行と報道されており、あまり影響はないと考えている。

公の土地等財産の統一管理・売却等による有効な財源確保について

質問 公の土地等財産の分類はできているのか。また、その評価は出ているのか。

答え 行政財産と普通財産の区分けについて、統一した基準の策定作業を進めている。評価についての作業も進めている。売却案件については、事案が発生する都度、議会に諮る。

税の滞納抑止対策について

質問 経済が冷え込んでいて、税の滞納状況はどうか。回収の対応はどうか。

答え 滞納繰越分は8億8200万円である。主なものは固定資産税で約5億4000万円、個人市民税で約2億7000万円、法人市民税で約1840万円である。滞納抑止対策として、昨年「市税等収納向上対策委員会」を設置した。水道料、保育料等の滞納と合わせて、内部で議論している。差し押さえや分割納付による納税相談も行っている。

文教福祉常任委員会

放課後子どもプランの検討を

電子黒板の導入について

質問 電子黒板について、現場の声はどうか。先生の異動で、市内の学校でメーカーが違つと戸惑いが出る。メーカーは統一されるのか。宝の持ち腐れにならないように。

操作性が高いことから有効に使用して頂く

答え 現場からの要望はない。先行使用している学校からは無駄とは聞いていない。入札にて購入メーカーを決定し、統一メーカーとなる。先生には有効に活用してもらうために、操作を覚えてもらう必要がある。



電子黒板を利用した授業

出産一時金について

質問 出産一時金には、受領委任支払い制度があるので、広報せよ。

個人支払いの一時的負担の解消になる

答え 10月から出産費用42万円は医療機関が国保連合会を通じて市に請求し、市から国保連合会を通じて医療機関へ支払われる。医療機関では差額の支払いとなり、保護者の一時的な負担は解消される。

あかね保育所移転改築について

質問 あかね保育所は、なぜ合併特例債で建設するのか。また、公立保育所の民営化が検討される中、他の保育所との整合性はどのようにするのか。民営化に当たっては公正な方法にて公募せよ。

有利な合併特例債充当にて検討したい

答え 老朽化して危険なので、早急に合併特例債で改築したい。当分は市営にて運営を行い、動向を踏まえた後、民営化の検討に入る。民営化には今後も協議を行い、原則公募方式により決めたい。

陳情について

放課後児童クラブ事業委託について、指導員の人件費加算などを協議した。地域で包括的に取り組む「放課後子どもプラン」の導入を研究するよう意見が出た。

生活経済常任委員会

先駆的里山保全支援事業について

9月11日、補正予算案3件、条例案2件、事件処分案2件を審議し、事件処分案のうち、議案第116号「白山白峰温泉スキー場の指定管理者の指定について」を否決、その他議案を全会一致で可決した。

先駆的里山保全支援事業について

質問 先駆的里山保全支援事業の内容は。

答え 地域が行う里山の利用、保全活動を支援するものである。今回は、木滑地区「木舟会」が耕作放棄地となっている棚田を整理し、数年かけて周辺の環境を整備する取り組みに対し助成する。

意見 休耕地・荒廃地の多くが中山間地域にある。このような事業をどんどん取り入れ、地域でやる気のある方を応援していただきたい。

一里野温泉の源泉孔洗浄工事について

質問 温泉パイプは、何年の割合で洗浄するのか。温泉スケールはかなり堅いが、パイプを取り換える方が費用が安く済むのではないか。

※温泉スケール：温泉の沈殿物、湯の花、湯垢など。

答え 5年に1回、削孔タイプ

機材を利用し、パイプ内を洗浄する。湯の道があり、パイプを抜くことはできない。

「松任駅南口第一自転車駐車場」について

質問 廃止される松任駅南口第一自転車駐車場の収容台数240台分については、新たに駐輪場を設けるのか。

答え 新幹線が整備されるまでの間、仮設駐輪場を3カ所設ける。合計で260台収容可能となっている。



松任駅南口の仮設駐輪場

そのほか、補正予算の主なもの

- ▽緊急雇用創出事業及びびるごと雇用再生特別基金事業
- ▽地産地消推進事業及び地産地消啓発事業
- ▽南消防団指令車・北消防団女性分団広報車購入事業

旧美川下水処理場・市営和波住宅を視察

9月16日に、旧美川下水処理場及び市営和波住宅を視察した。

旧美川下水処理場は、旧美川町が昭和46年に国から土地を借り上げ、下水道整備事業で整備した。昭和56年より供用が開始されていたが、平成17年4月1日に加賀沿岸流域下水道梯川処理区への接続替えを機に廃止した。

跡地については、国から土地を取得し、処理施設等を取り壊し、緑地広場や駐車場を整備する計画である。



旧美川下水処理場

市営和波住宅は、公営住宅12戸、地域優良賃貸住宅6戸が整備され、8月24日から9月4日までの期間で入居募集し、9月17日に入居の抽選が行われた。入居は、10月1日より順次開始されている。



市営和波住宅

財産の取得について

質問 取得するロータリー除雪車の耐用年数は。

答え 耐用年数は11年。

質問 吉野谷支所と白峰支所のロータリー除雪車が買い替えとなる。従前の車両は、吉野谷が昭和63年、白峰が平成8年に購入したとのことだが、今回同じ機種を取得するが、吉野谷の方が古い車両にもかかわらず下取りが高かったのはなぜか。

答え 白峰の車両については、使用頻度が高いことから廃車となり、下取りされなかった。



購入する除雪車と同型の車両

自治基本条例と市民協働のまちづくり

総務企画常任委員会

6月30日から7月2日にかけて、北海道苫小牧市、江別市及び札幌市手稲区を視察研修しました。

苫小牧市 自治基本条例

平成12年地方分権一括法施行前から、庁内組織で地道な検討を続け、「まちづくり基本条例等検討懇話会」を設立し、市主催市民説明会等、懇話会主催のワークショップ、議会との意見交換会を開催、7年かけて平成18年12月議会可決、翌年4月1日より施行されました。

小冊子「自治基本条例なぜなに教室」を作成、職員の窓口説明、市民への啓発に役立てているとのことでした。

江別市 市民協働のまちづくり

第5次江別市総合計画の主要政策として、平成16年2月、市とNPO・市民団体等の情報交換、行政と市民との協働のあり方を考える「えべつ市民活動・協働ネットワーク」が設立され、平成18年9月に市の空き施設に「江別市民活動センター・あい」が開設されました。このNPOは市の協働のまちづくり活動支援事業の運営を受託し、市民団体等からの活動支援申請の受付、市民公開選考会開催やその相談業務も行っています。

した。この制度で、地域において余暇活動の場所の管理を行うなど、年間対象経費の2分の1、上限20万円を有効に活用しています。



江別市の協働のまちづくりについてを視察

札幌市手稲区 手稲駅周辺地区交通結節点整備事業

平成9年度より、南北駅前広場を連絡する自由通路やバリアフリー化、駐輪場の整備をはじめとして、自由通路とバス、タクシーの乗降場を結ぶ主要な動線に、雨や雪の対応の上屋やロードヒーティングが整備されていました。自由通路の通称「あいくる」では、パネル展示、紙芝居、コンサートなど、地域交流の場、にぎわいの場として、市が無料で貸し出しを行っています。

食育と地域活性化

生活経済常任委員会

6月29日から7月1日にかけて、香川県高松市、高知県南国市、徳島県小松島西高校（小松島市）及び株式会社いろうどり（上勝町）を視察研修しました。

高知県南国市 学校給食における食育事業

南国市ではすべての小学校で自炊炊飯方式を実施し、家庭用炊飯器を利用して炊き立てご飯を提供していました。また、地元産食材の積極的な活用のため、毎朝食材が直売所から各学校へと配達されていました。

すべての食育事業が「子どもたちのために」という共通認識のもとで進められており、その思いは着実に子どもたちに伝わり、食への関心、生産者への感謝の心がはぐくまれ、給食食べ残しゼロなどの成果につながっています。

また、地元棚田米を利用することで、中山間地域の耕作放棄地の減少など、農業振興にも大きく貢献しており、山ろく振興策として、大いに参考にすべきと考えます。行政・生産者・消費者が食育の大切さを理解し、安心安全でおいしい米や野菜をつくること、食べることでできる体制づくりに向け、行政が率先して進めていく必要があると強く感じました。

小松島西高校TOKUSHIMA雪花菜工房 地域活性化の取り組み

TOKUSHIMA雪花菜工房は、高校の起業家教育授業の一環から生まれた模擬会社で、地元特産物を利用した「おからアイス」をはじめ、開発から販売まで、企業ながらに取り組む姿が高く評価され、現在では、生徒個人の進路にも好影響を与えています。

同校は、食物料を有し、企画から商品化までを校内で行えることが強みとのことでした。

本市には、総合学科で情報・ビジネス系系列を選択できる高校と農業を専門とする高校があり、2高校間の横断的な取り組みとして、地域特産物を使った商品開発等を、今後検討してはどうかと考えます。

以上のほか、高松市「観光プロモーション事業」及び、株式会社いろうどりの「葉っぱビジネス」を視察しました。



小松島西高校「TOKUSHIMA雪花菜工房」を視察

建設企業常任委員会

高齢者向けケア付き市営住宅

7月7日から9日にかけて、福岡県北九州市、福岡市、久留米市及び佐賀県神埼郡吉野ヶ里町を視察研修しました。

高齢者向けケア付き市営住宅整備事業

北九州市の住宅政策においては、少子高齢化の急速な進展などに的確に対応するため、「北九州市住生活基本計画」を策定し、住宅政策を総合的かつ計画的に推進してまいりました。

具体的な施策として、公営住宅のバリアフリー化やケア付き市営住宅の整備を推進しており、高齢者向けケア付き市営住宅の整備については、バリアフリー化に加え、緊急通報設備や入居者の在室・不在の状態が分かるような設備を設置しています。また、生活支援員を配置し、入居者の生活相談や緊急通報時の安否確認、病時の一時的な家事の援助など入居者の生活援助を行っていました。

JR久留米駅周辺整備事業

久留米市では平成23年春の九州新幹線鹿児島ルートの新線開通に向け、新幹線関連整備が進められており、新幹線駅の整備効果を最大限に引き出して、有効に活用するための受け皿づくりとなること

久留米駅周辺整備事業が進められていました。

駅舎関連整備は、駅舎の3階部分に新幹線ホーム、2階部分には新幹線の改札口と在来線の駅舎が整備され、駅の東西の往来については、2階部分に自由通路が新設され、歩行者が24時間通行可能になるとのことでした。

駅前広場については、駅の東西にそれぞれ整備され、タクシープール、路線バスの停留所、駐車場などが今後整備され、西口の広場に隣接して、市営の立体駐車場の整備が計画されていました。また、東口の駅前では、市街地再開発事業が進められており、にぎわいを創出したいとの計画でした。

このほか、福岡市の自転車と共生する道づくり、吉野ヶ里町のJR吉野ヶ里公園駅自由通路についてなどを視察しました。



工事中のJR久留米駅を視察

市民のための開かれた議会を目指す議会改革

8月11日から12日にかけて、奈良県天理市と三重県伊賀市を視察研修しました。

天理市の議員定数・報酬の見直し

天理市の概要

人口6万8839人、面積86・37キロ平方メートルで奈良県北部の奈良盆地の中央に位置。

議員定数について

議員は現在20人だが、平成23年4月の選挙より18人。

議員定数・報酬見直しの経緯

平成18年6月、市区長連合会から「議員定数・報酬等削減について」の申し入れ書が議会に提出されました。その後、議会の検討委員会や特別委員会、市民や各種団体の懇談会のほか、市民アンケート等の実施を経て、平成20年12月議会で「議員定数2名削減、議員報酬は現状維持」の報告を行い、議員定数2名削減案が可決されました。

伊賀市議会基本条例の制定

伊賀市の概要

人口10万1092人、面積558・17キロ平方メートルで平成16年11月1日、1市3町2村が合併しており、三重県の北西部に位置する。県下第2の面積がある。

議員定数について

合併時、在任特例で議員数78名、平成17年4月より34人、現在28人(平成21年より)。

議会基本条例制定の経緯

平成16年「伊賀市自治基本条例」の制定後、議会基本条例策定の必要性から、市民との意見交換会等や議員全員懇談会を経て、平成19年3月議会で議会基本条例が可決制定(市では全国初)。

条例の特徴

議会報告会の義務化、本会議の一問一答方式の実施、行政の反問権の付与、議会として政策討論会、出前講座の開催など。

両市の取り組みは、議会改革推進のため、二元代表制を背景にして、軸足を市民に置いたものであり、本市においても市民に信頼され開かれた議会を推進する必要があると感じました。

二元代表制

首長と議会議員とともに住民が直接選挙で選ぶ制度。首長、議会がともに住民を代表し、相互の抑制と均衡によってある種の緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として位置付けられている。



身近な議会

9月9日に白山市議会の一般質問を傍聴させていただき、本市のいわれとなる白山についての質問から、学校給食の地産地消、新型インフルエンザ、土砂災害、文化政策、石川線の一部廃止等、数々の質問事項に対し答弁がありました。

各議員の質疑は、その地元のみ問題としてとらえがちですが、白山市全域の活性化につながるものではないかと感じました。

また、素人目で議会というものを見ると、国会中継と変わら

長坂 慶子さん（白峰）

ない印象、原稿の読み上げの連続…。ただ予想以上に質問内容の下調べのこと細かさには驚き、想定外でした。市議会での審議や活動状況をもっと身近に感じ、自主的に市民も参加できるような環境づくりも必要かと思います。審議を重ね前向きに進もうとしても住民不在、議会のみでの活動では意味がないような…。

また、無投票とはいえ、議員の方々は市民の代表であり、日々各問題に取り組みられています。市民もすべてを任せるのではなく、自分たちの問題としてどう向き合うか、決して丸投げしない姿勢を見せていかなければならないのではないのでしょうか。



市議会にお願いしたいこと

北本 岩男さん（笠間町）

私の地元にある加賀笠間駅は10年前にJR西日本(株)から無人化する旨通知を受け、紆余曲折の末、地元で駅業務を行うことにしました。笠間中学校エリアの5地区の町内会と地区振興会を母体として加賀笠間駅振興協議会を設立し、JR西日本(株)との間で乗車券委託販売の契約書に調印しました。おかげさまで本年は10年の節目を迎え、市からも助成金等の支援をいただくなどにより、毎年赤字も出さずに健全運営をしています。そこで、私たちの大事な交通手段であるJR線に関して市議

会に2点要望いたします。①長野から金沢と白山総合車両基地間の北陸新幹線の開通が近づいて来ましたが、これまで新幹線が通った地区では、ローカル線が減便になるなど地域住民には大変不便となり、赤字路線となるそうです。そのようなにならないよう市議会で研究していただき、私たちに指導していただくようお願いいたします。②市内には松任・加賀笠間・美川・小舞子の4つのJR駅があり、いずれも地域住民の足として必要不可欠なものとなっています。駅と駐車場、アクセスする道路は三位一体であり、各駅の実情に合わせて整備をしてください。



安心して受診できるように

福村 朱実さん（宮永新町）

私は3人の子の母です。わが家には、病気持ちの子がいるので、常に病院に通っています。毎月にかかる医療費はばかになりません。そうでなくても、子どもは何かにつけて病院にかかるものです。

昨年度から白山市の子どもの医療費助成が、中学校3年生までに拡大されました。まだまだ病院にお世話になることが多い年齢なので、とても助かっています。しかし、時間外に病院にかからなければならないとき、

市内で一番大きな病院でさえ、「今日は担当の先生がいなし」というときがあります。そんなときは、金沢の大きな病院まで行かなければなりません。

具合の悪い子を車に乗せて遠くの病院に連れて行かなければならないのは、親にとっても子どもにとっても負担になります。市内に立派な病院があるのに、とても残念に思います。

私たちが住む白山市でも、時間外に必要な治療が受けられるようになると、とても嬉しいです。

私たちが編集作業を担当して3作目となる「議会だより 第18号」はいかがでしたでしょうか。誌内、「9月定例会概要」は内容の性質上かたい表現になっていますが、これも編集委員会が作成しています。「一般質問」は本会議一般質問の内容を、議員自らが編集した原稿を載せてあります。「議会だより」に議会活動のすべてを載せることは、紙面の制約もあり難しいですが、今後も市民のみなさんに議会の活動をより知っていただけるよう、常に点検と改善に努めて「議会だより」を進化させていきたいと思ひます。（編集委員一同）

■編集委員会

委員長：大口 英夫 副委員長：宮中 郁恵
委員：石地 宜一、古河 尚訓、安田 竹司、宮岸 美苗、吉田 郁夫